

あおぞら

2025年10月号 NO. 239

発行日 令和7年9月30日

墨田区立言問小学校

校長 中嶋 保徳

住所 〒131-0033 墨田区向島 5-40-14

電話番号 3625-0315 FAX 番号 3625-2156

ことばの教室

電話・FAX 番号 3625-5557

朝晩の風が涼しく感じたり、日が沈む時間が早くなったり、空にいわし雲が浮かんでいたり秋を感じるようになりました。10月に入り、後期が始まります。ことばの教室では、前期にできたことを基に後期の目標に向かって指導を進めてまいります。

9月にはちょうど午後の通級の時間に大雨が降りました。天気急変や激しい雨は今後も起きそうです。そのようなときにはお休みの判断をしていただいても構いません。ことばの教室までご連絡ください。怪我なく安全に通級してきていただければと思います。



10・11月の主な行事予定



10月	通級		予定
	午前	午後	
2日(木)	×	○	区小研(通級難聴言語)のため午後のみ授業
6日(月)	～24日(金) 保護者面談期間		
7日(火)	○	×	都難言協江東ブロック研究会のため午前のみ授業
10日(金)	終業式後○	○	前期終業式
14日(火)	始業式後○	×	後期始業式 幼保小中連絡協議会、都難言協専門研究会のため午前のみ授業
17日(金)	○	×	運動会前日準備のため午前のみ授業
18日(土)	×	×	言問小学校 運動会
20日(月)	×	×	運動会振替休日
21日(火)	運動会があれば×	○	運動会予備日のため、運動会があれば午後のみ授業
27日(月)	～11月21日(金) 在籍学級訪問期間		
29日(水)	第4回グループ活動 午後3:30～		
30日(木)	○	×	就学時健康診断のため午前のみ授業
11月	午前	午後	予定
4日(火)	○	×	都難言協江東ブロック研究会のため午前のみ授業
21日(金)	○	×	区小研(通級難聴言語)のため午前のみ授業
29日(金)	×	○	言問小学校 学芸会のため午後のみ授業
30日(土)	×	×	言問小学校 学芸会



保護者面談のお知らせ



10月6日(月)から24日(金)まで保護者面談期間を設けております。日頃のお子さんの授業での様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を伺ったりして、今後の指導に役立てていきたいと考えております。担当から日程調整のご連絡をいたします。ご都合を各担当までお知らせください。よろしくお願いいたします。

裏面もあります



おんいんいしき 音韻意識について



「音韻意識」とは、ことばを音の単位に分けて意識できる力のことです。例えば「さくらんぼ」ということばを「さ・く・ら・ん・ぼ」と一音ずつに分けたり、「かさ」と「かみ」では、どちらも「か」で始まることに気付いたりする力です。「音韻意識」は学習の基盤となる大切な力であり、読み書きができるようになることに関係しています。

文字を学ぶときには、「音」と「文字」を対応させる必要があります。例えば「ねこ」ということばを読むときには、「ね」「こ」という音のかたまりを認識し、それを文字の「ね」「こ」と結び付けています。もし音を分けて意識することが難しいと、文字を覚えても読めなかったり、書くときに音を抜かしたり、逆に余分な音を入れてしまったりすることがあります。「音韻意識」を育てることは、文字の学習をスムーズに進める上でとても重要です。

「音韻意識」は、日常のやりとりの中で楽しく育てることができます。ご家庭でできる遊びをいくつかご紹介します。



しりとり：ことばの最初と最後の音に注目します。慣れてきたら

「3文字のことばだけでしりとりしよう」などルールを加える方法もあります。

「〇」から始まることば探し：例えば「あ」から始まることばを言い合います。長いことばの方が高ポイントにする方法もあります。



ことばの音の数を数える：ことばを一音ごとに区切って、手をたたいたり指を折ったりします。例えば「いぬ」は2回、「くつした」は4回というように数えます。

たぬきことば：「た」の音を抜くとどんなことばになるか考えます。

(ねたこ→ねこ、さたかな→さかな、くたるたま→くるま)



逆さことば：ことばを逆さまに言うと、どんなことばになるか考えます。

(「はな」→「なは」、「バケツ」→「ツケバ」) また、「みずね」→「ねずみ」のように逆から言うと、ことばになる方法もあります。

カルタ：「はじめの文字」に注目する必要があります。



文字数すごろく：絵カードを用意し、選んだカードの文字数だけ進むルールです。

じゃんけんグリコ：階段などでじゃんけんをして、勝った人が決まった数だけ進み、ゴール地点に最初に着いた人が勝ちです。グー：グリコ(3歩) チョキ：チョコレイト(6歩) パー：パイナツプル(6歩)



「音韻意識」はすぐに身に付くものではなく、少しずつ積み重なって育つ力です。日常の遊びや会話に取り入れることで、無理なく伸ばしていくことができます。読み書きに苦手さを感じているお子さんでも、音を楽しむ活動から始めることで、「できた！」という自信につながり、学習の意欲も高まります。ことばの教室でも楽しく学びながら、お子さんの読み書きの力を支えていければと考えています。